

## 私を変えた一冊 (2)

5月号に続き、自分の生き方を変えた本、影響された本、思い入れの深い本を一冊挙げ、ご紹介いただきました。皆さまの「私を変えた一冊」はありますか？

### 息子をどう社長にするか 後継実践編 一流経営者に学ぶ会社の譲り方

著者 森 和夫 出版社 中経出版

発行 1983年4月(第8刷) ※初版 1980年8月

米子東RC 上森 明郎

銀行を退職し、縁あって長女である妻との結婚と同時に、婿養子として義父が創業した同族会社に入社。それ以来、義父から商売のイロハをたたき込まれた。40歳で会社を引き継ぎ、新しい部門を開設追加しながら企業の発展と永続に取り組んできた。気がつくとい人娘も大学を卒業、会社を手伝うようになっていた。娘もまた婿養子を取った。

当時、私の最大の課題は企業継承と、後継者の育成であった。その時、本書『息子をどう社長にするか』に出会い、多くの事例を参考に、教育の方向性、事業の引き継ぎを決め、息子45歳のとき(2000年)、無事に引



き継ぐことができ、今に至っている。感謝に値する一冊である。  
(第2690地区 鳥取県)

### ハーバードからの贈り物

著者 デイジー・ウェイドマン/幾島 幸子・訳

出版社 武田ランダムハウスジャパン (旧・ランダムハウス講談社) 発行 2004年9月

さいたま新都心RC 野辺 博

本書はハーバードビジネススクール(HBS)の教授陣が、最終講義で学生に語った訓話15篇を収めたものである。HBSはアメリカ屈指の経営学大学院で、世界中から優秀な学生が集まり、その卒業生はビジネス界のリーダーとして活躍している。

そのような学生への饒<sup>はなむけ</sup>の言葉は、ビジネスで成功する秘訣<sup>ひけつ</sup>などではない。各教授自身が失敗や挫折を通して学んだことや、人生を決定づけた出来事などを率直に披露<sup>ひれき</sup>したものである。その内容から、勉強や仕事に行き詰まった人にとっては、生きていく指針を示唆され、勇気を



与えられる一冊だろう。ロータリアンにとっても、リーダーとしての使命、仕事に対する心構えを教えてくれる良書である。  
(第2770地区 埼玉県)



このおもむきより 歴史を辿ります

## 我がクラブに この 人 あり



### 米子東RC

杉本 真吾

杉本真吾君は、米子東高校野球部3年生(1983年)の夏の甲子園に3番捕手として出場し、慶應義塾大学野球部入部、慶應義塾大学野球部コーチ、助監督を歴任したのち、1997～1998年には母校米子東高校の監督を務めたキャリアの持ち主である。

現在地元米子市内で皆生タクシー社長、皆生温泉芙蓉別館会長などの職の傍ら、1999年より、NHK鳥取放送局にて高校野球の解説を担当。理論的な語り口と軽快な喋りが評判を呼んで人気解説者の仲間入りを果たし、選抜高等学校野球大会のゲスト解説者となる。その後2006年には夏の全国高等学校野球選手権大会の解説者へと昇格を果たし

た。現在、米子東高校野球部OB会の副会長も務めている。

当クラブにおいても、ロータリー野球に情熱を注ぎ、親睦活動委員会リーダー、SAA(理事)、クラブ広報担当理事などを歴任し、今後は米子東ロータリークラブのみならず、第2690地区においても大いに活躍が期待されるロータリアンの一人である。

米子東RC 会長 尾沢三夫



### 松江東RC

安部 正之

松江東クラブの21代会長を務めた安部正之会員は、小学校の頃から落語に興味を持ち、大学時代には自分で「近眼亭えん枝」と名乗るほどでした。平成18年には安部整形外科医院院長と言う激務の傍ら、趣味が高じて四代目『春雨や雷蔵』に入門、『春雨や落雷』を襲名し、この平成24年6月には真打ちに昇進となりました。

平成21年に医院を後進に譲ってからは好きな落語と医学知識を活かし、『古典落語』と『いきいき医学講話』の二部構成からなる『お達者落語会』を主宰しています。

この『落語会』は全国におよび、社会福祉事業団や公民館など行政の『健康大会や健康まつり』、町内会・老人会など一般市民への口演を行い、また、笑い療法士として癌患者さ

んの緩和ケア治療に参加されるなど活躍されています。

昨年の3.11災害に対し、当クラブと『松江春雨や流の会』が主催、松江の他の3クラブが協力の上、『春雨や雷蔵一門』が松江に集結してチャリティー落語会を開催しました。約600名の聴衆を沸かし、大きな義援金を送ることが出来ました。

真打ちとなった後、語りに磨きをかけ、活躍の場が益々広がって行くものと期待されています。

松江東RC クラブ広報委員長 鐘築一雄

